平成25年度第1回(通算第47回)ソフィア発見講座(報告)

実施日 平成 25 年 10 月 23 日 (水) 18:30~19:50 会 場 磐周教育研究所 大会議室

テーマ 「キレない子どもを育てるために・・・セカンドステップとは?・・・」

講師 石森 恵美先生

本年度、第1回ソフィア発見講座の講師は、故石森茂利校長先生の奥様の石森恵美先生にお願いしました。先生は現在「NPO法人 日本子どものための委員会」でセカンドステップ指導員をなさっています。

奇しくもこの10月23日は3年前の故石森校長先生の葬儀の日にあたるということで、参加者一同、何か不思議なご縁を感じました。 (参加者 55名)

1 はじめの言葉 司会 鈴木 一啓 教頭(竜洋中) 鈴木一啓先生の「今回はキレない子どもを育てるための講話を していただきます。」というはじめの言葉、及び、それに続く司 会によって本日の会が始まりました。



活動推進委員会委員長 小松 洋校長(磐田西小)

小松先生は主催者の立場から、ソ フィア発見講座は磐周教育研究所 の活動推進委員会が中心となって

行っていること、今回はキレやすい子どもたちとどう向き合っていくかについてヒントをもらうよい機会になりそうなこと、実際にセカンドステップを行っている保育園の園長先生から日々の生活にセカンドステップが生きているという話を伺っていること等を紹介し、本日の講話が参会者

の今後の教育活動にきっと寄与するであろうということをお話しされました。

3 石森先生のお話

・・・バブル時代にアナウンサーになった石森恵美先生が、磐田に嫁いだ時代のことから話が始まりました。「アナウンサーとしての経験が、きっと教育に生きる。」という故石森茂利校長のアドバイスが今も生きているそうです。・・・



- ◎「セカンドステップ」とは、1975年にシアトルで開発された教育プログラムです。衝動的・攻撃的な人間にならないように開発をされました。理不尽な攻撃をふるうことも、ふるわれることもない世界にするように、社会全体を変えていくことを目的としています。
- ◎「セカンドステップ」では、1回のレッスンが約30分、全部で28回のレッスンを行います。プログ

ラムは1章が『相互の理解』、2章が『問題の解決』、3章が『怒りの扱い』に分かれて



います。大人であったら「当たり前」と感じていることを、時間を掛けて日常生活に取り入れていくプログラム内容になっています。



- ◎ 1章『相互の理解』をするために、「話は目と耳で聞く」「よい姿勢で聞く」「聞きたいことがあったら黙って手を上げる」というルールを設定しています。例えば写真を見せて質問し、意見を出し合う中で、気持ちが表情に表れることに気づくようになります。
- ◎ 2章の『問題解決』では、どうやったら自分が困難な状況から抜け出せるかを考えていきます。 ある状況の写真を見せたりしてホワイトボードに 子どもたちの意見を書き出して様々な角度から検

証をしていき、同じような場面で自分たちはどうしたらいいのか考え合っていきます。 ② 3章の『怒りの扱い』では、自分の気持ちを伝えることが大切であると伝えていきます。怒りを表現する際に相手を批判することから入ることが多いようですが、「 $\bigcirc\bigcirc$ ちゃんが~したから嫌だ」ではなく、「私は~したい」というように、まず自分はどうしたいのかをはっきりと伝える力をつけさせていきます。また、怒った気持ちを落ち着かせるためのステップとして、深呼吸や $1\sim5$ まで数える、タイムをとる(自分が落ち着けるところに逃げる)なども伝えていきます。



・・・公費でセカンドステップを導入 しているのは静岡県では磐田市のみだ そうです。なお、参観が可能だそうです。

石森先生は終わりの方で中学1年の 国語教材「大人になれなかった弟たちに」を朗読して下さいました。情景が浮かぶような語りに引き込まれ、クライマックスの場面では涙を流しながら聞いている先生方もいらっしゃいました。そ

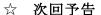
して最後に先生の万感の思いを込めた教育会へのエールをいただきました。・・・

4 お礼の言葉

活動推進委員会副委員長 山田幸久 校長(山名小)

本校の先生方にも機会があったら話をしていただきたいと思います。石森先生のお話から熱い情熱を感じました。セカンドステップを広めたいという気持ちだけでなく、子どもたちへの思いや御主人のお気持ちを受け継いでおられることがあるからだと思いました。

ありがとうございました。



期日 平成 25年11月13日(水)18:00~

講師 木野 弘之 豊田東小学校長

演題 「日本全国 岬めぐりと山めぐり」

すでに案内を各校に送信してあります。「Web 蔵」メッセージにて学校名と受講者 氏名を記入してお申し込み下さい。大勢の参加をお待ちしています。

